

～Employee's Profile～



みなさん、こんにちは。  
育メンの井下大志(いしたひろし)と申します。  
内勤、Booking&北米船社窓口、書類チームを経て、  
2019年12月より外勤営業というポジションへ異動となりました。

簡単に自己紹介をさせていただきます。  
愛知県新城市という長閑な町で育ち、  
現在は愛知県一宮市に妻(某乙仲勤務中)と  
子供(もうすぐ3歳の男の子)と3人で住んでおります。  
大学卒業後、階段メーカーに就職も  
2カ月で倒産し路頭に迷うこともありましたが、、、  
NW商材を扱う商社と不動産関係の会社を経て、  
2012年6月にジャパントラストへ中途入社いたしました。

休日は、家族でモーニングに行ったり、買い物や公園に行ったりとゆっくり時間を過ごしています。  
一宮市はモーニング発祥の地と言われておりますので、おすすめの喫茶店がたくさんあります!  
趣味はスポーツ観戦(主にサッカー・野球)とゴルフ、サウナや岩盤浴など。  
一番のストレス発散は、邦楽のROCKのLIVEに行くことです。  
一人でROCK Fes巡りをした経験もあります!

このような人物像ではありますが、  
今までの部署で培ってきた経験・知識を武器に、  
お客様の要望を理解し期待に応えられる営業マンになれるよう尽力させていただき所存です。  
今後ともどうぞ宜しくお願い致します!



ジャパントラストかわら版  
**情熱羅針盤**



【海洋の安全航行にも役立つ船舶自動識別装置©古野電機】

ところで、ネットサービスの地図上で船舶の位置情報を確認していくといろいろな状況が見えてきます。  
お盆に高速道路が渋滞するように、海洋の交通にも航路上で船舶が密集する現象が起きているのです。特に沿岸部や海峡ではその傾向が顕著といえます。広大な海洋のワールドにおいても、船が運航するルートは思いのほか限定されているのです。例えば、日本列島近辺をズームインして眺めてみると、その密集状況には驚かされます。  
船舶が多く集まるエリアでは、船同士の接触事故の危険性が高まり、船舶の安全運行上で第一に考慮しなければならぬリスクとなっています。残念ながら、先に挙げたような人命にかかわる事故も現実には発生しており、海上での船舶衝突は海運業界ではもちろん、世界中の国々が手を携えて解決しなければならぬ問題ともいえるのです。  
...次回へ続く。



【パソコンやスマホで簡単にアクセスできるリアルタイム船舶情報 ©MarineTraffic】

コンテナ船に注目すると、前述のような海上輸送に関するさまざまな事実が見えてきますが、次はちょっと視点を変えて、コンテナ船を含む船舶の動きを俯瞰してみたいと思います。  
インターネットでは、世界中の海を航行する船舶情報をリアルタイムで提供するサービスがあるのをご存知でしょうか。これらは「マリントラフィック(Marine Traffic)」、「シップファインダー(Shipfinder)」などのサービスが知られており、ネット上で無料公開されていることからパソコンやスマートフォンさえあれば、誰でも簡単に閲覧できます。  
このネット上のツールを用いると、世界中で航行する膨大な隻数の船舶の運行状況がひと目で把握できます。実際に海上のどの地域間を船が通っているのかを確認でき、これらのサービスのアクセスすると、船舶・貿易のプロだけではなくても興味深い情報に触れられるのが特長です。  
そして同サービスは単に船舶が運行する様子を眺めるためだけに存在するものではありません。船舶それぞれの種類や名称、位置、航行速度、目的地の港といった詳細な情報も提供されることからビジネスはもちろん、幅広い分野での活用が進んでいます。

最 適 物 流 の コ ラ ム 5

海路の混雑状況も一目瞭然に